

浜松学院大学の教育方針

浜松学院大学では、建学の精神、教育理念に基づく使命・目的を反映した三つのポリシーで、専門的実務能力「能く生きる」と共生協調能力「善く生きる」を兼備する人を育成する実学教育を行うことを示しており、それに基づき、現代社会において求められる能力を兼ね備えた人材を育成します。

現代コミュニケーション学部は、地域共創学科と子どもコミュニケーション学科の2学科によって構成されています。地域共創学科は、学修過程において現場に立脚した能動的な学びを通して、現代及び将来に向け社会が求める人材を育成します。子どもコミュニケーション学科は、時代や地域のニーズに応えられる教育者や保育者、リーダーシップを発揮できる人材を育成します。

現代コミュニケーション学部

ディプロマポリシー

現代コミュニケーション学部は、以下に掲げる知識や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士（現代コミュニケーション）の学位を授与します。

1. 高潔な倫理観に立って、他を思いやることができる豊かな人間性を身につける。
2. 地域やグローバル社会に対応できる幅広い教養と専門的知識を活用して、課題解決できる力を身につける。
3. 「実践練磨」の場における共生協調能力を身につける。

地域共創学科

ディプロマポリシー

1. 高潔な倫理観に立って、地域を愛し、地域に貢献することができる豊かな人間性を身につける。
2. グローバル化し、変容する社会に対応できる幅広い教養と実践力を活用して、地域社会の課題を解決できる力を身につける。
3. 地域社会におけるさまざまなフィールドにおいて「実践練磨」の場に生きる共生協調能力を身につける。

知識・理解	様々な分野の知識を学び、理解することで、複数分野の知識を応用して多面的に考察することができる。また、地域の政策や経営、観光、グローバル化に関する専門的な知識を体系的に学び身につけることで、地域社会の課題解決に必要な理論を理解し、活用することができる。
思考・判断	グローバル化し、変容する地域社会の課題に対し、情報を収集分析し、身に付けた様々な知識や技術、経験をもとに、多面的な視点から論理的かつ倫理的に判断し、解決策を考え、行動することができる。
関心・意欲	地域を愛し、地域に貢献することへの使命感を持ち、地域社会の課題解決に対する意欲をもって学びを継続することができる。
共生協調能力	地域社会において、多様な個性や価値観があることを理解し、そこに住む人々や、地域産業などそれぞれの立場に寄り添った地域貢献ができる。また、自身の考えを他者に正しく伝えつつ、他者の意見も尊重することで、仲間や周囲の人と協力し主体的に活躍できる。

子どもコミュニケーション学科

ディプロマポリシー

1. 高潔な倫理観に立って、慈愛をもって子どもと関わることができる豊かな人間性を身につける。
2. 変革する教育・保育、子ども社会に対応できる幅広い教養と実践力を活用して、課題解決できる力を身につける。
3. 教育・保育現場における実践練磨の場に生きる共生協調能力を身につける。

知識・理解	様々な分野の知識を学び、理解することで、複数分野の知識を応用して多面的に考察することができる。また、教育に関する専門的な知識を体系的に学び身につけることで、教育の実践に関する理論を理解し、活用することができる。
思考・判断	様々な教育的課題に対し、情報を収集分析し、身に付けた様々な知識や技術、経験をもとに、多面的な視点から論理的かつ倫理的に判断し、解決策を考え、行動することができる。
関心・意欲	理想とする保育者像、教育者像を追求し、子どもや児童生徒の教育・保育に対する意欲をもって学びを継続することができる。
共生協調能力	教育現場において、多様な個性や価値観があることを理解し、多様な子どもや児童、その保護者に慈愛をもって寄り添うことができる。また、自身の考えを他者に正しく伝えつつ、他者の意見も尊重することで、仲間や周囲の人と協力し主体的に活躍できる。

現代コミュニケーション学部

カリキュラムポリシー

現代コミュニケーション学部では、実学教育を行う中で、以下の目標が達成できるようアクティブ・ラーニングに基づく DiCoRes プログラムを中核とした教育課程を編成しています。

1. 人を思いやることができる人間性を涵養し、責任を持って行動する力を修得する。
2. 幅広い教養と専門分野に関する知識・技術を学修し、それらを活用して諸課題を解決していく判断力・創造力・実践力を修得する。
3. 人々と活動する中で、多様なコミュニケーション能力を高め、リーダーシップを発揮する力を修得する。

基本教育科目

学部共通の基本教育科目については、STEAM 教育を取り入れており、コミュニケーション・スキル科目群と教養科目群に分けて編成を行っている。令和6年度からは、数理・データサイエンス・AI 教育を取り入れている。

○コミュニケーション・スキル科目群

本学の第一の教育目的である「コミュニケーション」のスキル（語学・アカデミックスキル・コンピュータ・スポーツ）の修得を行う。

○教養科目

「人間性を涵養」し、社会と連携するための「幅広い教養」(文学・歴史学・法律・社会学・数学・自然科学などの教養)を身につける。

※本学でSTEAM教育を取り入れている意義は、科学技術の進歩と社会変化の理解を深めることで、データ分析やテクノロジーをより有効に活用できるようになるとともに、リベラルアーツや数学、工学等を通じて幅広い視野と深い洞察力を持ち、現代社会における課題に対処できる人材を育成すること。さらに、身に付けた知識が社会におけるコミュニケーションのツールとなることにあります。

STEAM教育を通して、複雑化する社会問題に対して多面的な視点で取り組み、解決策を考える判断力や創造力、仲間や周囲の人と協力しながら解決策を実行できるコミュニケーション能力等の現代社会での課題に対処できる能力を育成しています。

専門教育科目

地域共創学科

カリキュラムポリシー

1. 地域社会のさまざまなフィールドでの学びを通して豊かな人間性を涵養するとともに、責任ある自己実現力を修得する。
2. グローバル化し、変容する地域社会のさまざまなフィールドにおける幅広い分野と専門分野に関する知識・技術を習熟し、それらを活用して諸課題を解決していく判断力・創造力・実践力を修得する。
3. 地域社会のさまざまなフィールドにおいて活動する中で、多様なコミュニケーション能力を高め、リーダーシップを発揮する力を修得する。

○専門共通科目

地域社会との連携における基礎知識を修得するため、「地域社会のさまざまなフィールドにおける幅広い分野と専門分野に関する知識・技術」を学修する科目を配置するとともに、専攻の選択に関わる「地域政策論」「観光学入門」「グローバルコミュニケーション概論」の選択必修科目を配置している。

○各専攻科目群

3つの専攻のうち学生が選択した1つの専攻について、より専門的に学ぶための科目群として「地域政策専攻科目群」「観光専攻科目群」「グローバル教養専攻科目群」を配置している。それぞれの目標に向けて学修を深めるために、専攻やコースにおける専門的な科目が配置されている。

○ゼミナール系科目

専門的知識、コミュニケーション・スキル、アクティブ・ラーニング、フィールドスタディを総合的に学修する科目として、「地域共創演習Ⅰ」「地域共創演習Ⅱ」「ゼミナールⅠ」「卒業研究」の計4科目に加えて、産学官のキーパーソンを特別講師に招く「地域共創学科特別講義」を配置している。これらは、「責任ある自己実現力」や「諸課題を解決していく判断力、創造力、実践力」、更には「多様なコミュニケーション能力を高め、リーダーシップを発揮する力」を修得する科目である。

○キャリア科目

自分の進路を考えるための、「キャリアプランⅠ」、「キャリアプランⅡ」と「キャリアデザインⅠ」、「キャリアデザインⅡ」を2年次・3年次に配置し、低年次からのキャリア教育による早期からの目標設定と意欲喚起を行う。また、三ヶ月間にわたって企業において実際の業務を経験しながら学ぶ「長期企業内留学」を配置し、各専攻科目群の講義・演習科目で学修した専門知識を基にアクティブ・ラーニングやフィールドワークを行う授業科目構成となっている。

○関連科目群

コンピュータ関連資格や、簿記、TOEICなどの資格取得を支援するための「関連科目群」を配置しており、令和6年度からは「ファイナンシャルプランナー」の資格取得支援科目を開設している。

子どもコミュニケーション学科

カリキュラムポリシー

1. 教育・保育実践を通して豊かな人間性を涵養するとともに、責任ある自己実現力を修得する。
2. 教育・保育に関する幅広い教養と専門的知識・技能に習熟し、それらを活用して課題を解決していく判断力・創造力・実践力を修得する。
3. 子どもに関わる協同的な活動をする中で、多様なコミュニケーション能力を高め、リーダーシップを発揮する力を修得する。

○専門・基礎科目

地域の幼稚園や保育園、小学校との交流を通して幼児教育・保育及び初等教育の現場について学ぶ「子どもコミュニケーション」を配置し、他に「教職概論」「教育原理」「子ども保育の原理」など、職業観を学んだうえで「教育・保育に関する幅広い教養と専門的知識、技能」を修得するための科目群を配置している。また、「ICT活用の理論と方法」や「子どもとAI・ICT」を配置し、取得する免許種に応じたICT教育について学ぶことができるようになっている。

○専門・展開科目

「教育・保育に関する幅広い教養と専門的知識、技能」及び「課題を解決していく判断力・創造力・実践力」そして「リーダーシップを発揮する力」を修得するための科目群として、幼稚園教諭一種免許状・保育士資格取得の科目、そして小学校教諭一種免許状・特別支援教諭一種免許状の科目を体系的に学ぶことができるよう科目群を配置しており、その集大成として3年次に「子ども実践ゼミ」4年次に「卒業研究」を配置している。また、子どもに関する免許・資格以外の専門性を身に付けるために必要な科目として、「子どもの疾病と対策」「小児救命救急法」「不登校支援論」「リーダーシップ論」などの教員免許状・保育士資格取得課程以外の科目を配置している。その他、キャリア科目としては、「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」などの科目を配置しているが、令和6年度からは1年次、2年次に「保育教育対策講座Ⅰ」及び「保育教育対策講座Ⅱ」を開設し低年次からより具体的に教員・保育士への進路を意識づけるとともに教員採用試験への準備を進める。

現代コミュニケーション学部

アドミッションポリシー

現代コミュニケーション学部では、建学の精神と教育理念に共鳴する以下の者を受け入れます。

1. 大学での学修にふさわしい基礎学力を有し、地域や世界の現状、あるいは教育や保育に関心を持つ者
2. 地域や社会の課題解決、発展に寄与することに使命を感じる者
3. コミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、創造性豊かで行動力のある者

地域共創学科

アドミッションポリシー

1. 大学での学修にふさわしい基礎学力を有し、地域社会への貢献に強い関心を持つ者
2. グローバル化し、変容する地域社会の諸課題の解決及び発展に寄与することに使命を感じる者
3. コミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、地域社会の変革に取り組み、創造性豊かで行動力のある者

入学までに必要な能力

- 高等学校までに学ぶ内容を身に付けている。
- 地域社会、その課題への関心と意欲をもって学習に取り組める。
- 多様な個性や価値観を尊重しつつ、主体性をもって他者と協調できる。

子どもコミュニケーション学科

アドミッションポリシー

1. 大学での学修にふさわしい基礎学力を有し、教育・保育に強い関心を持つ者。
2. 教育・保育の抱える諸課題の解決及び発展に寄与することに使命を感じる者。
3. コミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、教育・保育に関して創造性豊かで行動力のある者。

入学までに必要な能力

- 高等学校までに学ぶ内容を身に付けている。
- 教育や保育、それらの持つ課題への関心と意欲をもって学習に取り組める。
- 多様な個性や価値観を尊重しつつ、主体性をもって他者と協調できる。